

神戸市少年団登山教室山行（11月9日）報告

2024. 11. 10

1. 参加者

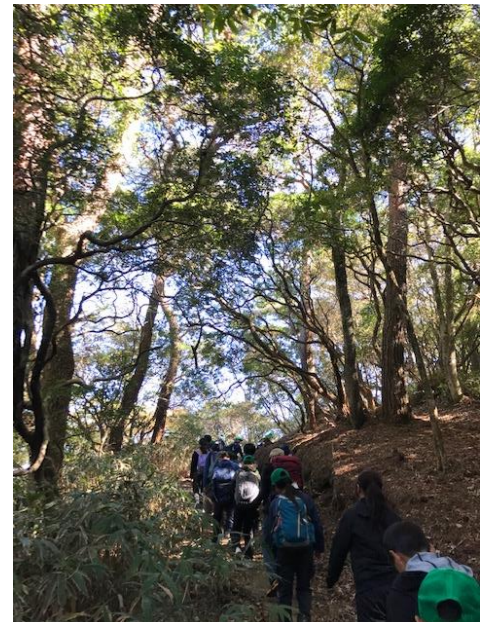
教室生参加者 18名

引率者 岳連理事4名 教員ボランティア1名
大学生ボランティア2名

2. 記録

天気 晴れ

- 9時 神戸電鉄大池駅前 教室生 集合
- 9時15分 神戸電鉄大池駅前 出発
地獄谷西尾根を登って
- 10時50分 水晶山 着
- 11時20分 ダイヤモンドポイント
地図読みと昼食
- 12時20分 ダイヤモンドポイント 発
三国池を経て
- 13時 杉谷峠
アゴニー坂を経て
- 13時40分 掬星台 着
- 14時 掬星台 発
- 15時35分 神戸登山研修所 着
集まりの後、解散



3. 準備物

名札・地図（コース図用、山座同定用各1枚）

4. 活動内容と感想



2, 3 日前の天気予報と大きく異なり秋晴れの上天気で空
気も少し冷たいくらい。絶好の山登り日和だ。少し集合に時間
がかかる。9時15分到大池駅を出発。街の中を暫く南に進
み、阪神高速北神戸線の高架をくぐると山登りが始まる。沢を
渡って地獄谷の山道を行く。教室生達は元気。本来は地獄谷西
尾根の末端から登る計画だったが、下見の時に「まったけ山」
のためか山裾にずっとテープが張られていて末端からは登れな
い。暫く地獄谷を進み、途中から西尾根に登る。山道も荒れて
いる所があるので教室生に軍手をするように伝える。ここから

急登が始まる。ゆっくり登る。まだまだ登り始めたばかりなので教室生も元気。枯葉が積もっているところもあるので滑らないように気を付けるように注意。秋の山は木の葉が散って明るい。足元には茶色の落ち葉、木々の幹、その向こうに対岸の緑と少し色づいた秋の山なみ、木々の間から見える空は青空。秋の山は気持ちがいい。アップダウンの続く尾根筋を過ぎて水晶山に到着。ここには標識もなく小さな石柱が木の根元に置かれていた。暫く進んで11時20分にダイヤモンドポイントに到着。ここから北に広がる街や丹生山系が一望できる。ここで「山座同定」用の地図を配布し、コンパスを出すように指示。地図には近くの古寺山や逢ヶ山、水晶山



が載っているので目の前に広がる山々からそれらの山々を確認する作業をした。木々があって見にくかったり確認したい山の方向がきちんと読めなかったり、距離感がつかめなかったりして悪戦苦闘していた。地図読みの後、昼食休憩とする。木陰は少し寒い日当たっている所は気持ちがいい。暖かい陽射しの下、眼前に広がる丹生山系を見ながら昼食をとった。12時20分にダイヤモンドポイントを出発。三国池を見てから杣谷峠、名前どおりのアゴニー坂を息を切らしながら登って掬星台に着く。掬星台は11月10日の「六甲全山縦走」のチェックポイントの準備で人や車やテントで一杯だった。少し休憩して青谷道を下る。元の計画では下山コースは杣谷を下って護国神社に着く予定だった。このコースは道が

険しく渡渉地点も多く時間がかかると下見の時に判断し下山コースを青谷道に変更した。青谷道を下りる中で足が痛い、膝が痛いという教室生も出てきた。厳しい登りの地獄谷西尾根やアゴニー坂を進んできて教室生の疲れが出てきたようだ。杣谷から青谷道に変更して良かったと思う。午後3時35分に神戸登山研修所に到着。研修所前で集合して、「今日の山登りで歩いた距離は?」、「摩耶山史跡公園の石段の数は?」などを聞いてみた。みんなそれぞれの答えを言い合っていた。今回の案内を終え解散した。

文責 大西



注： ・今回、歩いた距離は12.3km (YAMAPによる)
・摩耶山史跡公園の石段は何人の教室生が数えていた。363?段、468?段との発表があったがはっきりした数は分らなかった。